



瓊浦高等学校
学校通信
第 100 号

令和2年12月21日発行
電話 095-826-1261

瓊浦窓の

「『桜が岡』第100号の発刊に思うこと」

教頭 佐藤 一司

12月も半ばを過ぎて一気に寒さが増し、今年もいつもと同じように冬が訪れてきましたが、今年の冬は世界中に広がってしまった目に見えない厄介者が、相変わらず私たちを不安の渦に巻き込んでおり、いつもと違う年の瀬を迎えることになってしまいました。皆様も健康には十分にご留意いただき、この年末年始をお過ごしいただきますようお願いいたします。

さて、この「桜が岡」も創刊から数えて今回第100号発刊の節目を迎えることになりました。この「桜が岡」は保護者や学校関係者の皆様に、いち早く学校の様子、生徒たちの活躍の様子をお伝えすることを目的に、平成24年9月から毎月末に発刊されております。今回、たまたま私がこの100号に寄稿することになったのですが、これを機会に創刊号を含めて過去に発刊された「桜が岡」をいくつか読み直してみました。まだ、約8年程度の歴史ではありますが、その時々に行われた行事や生徒の様子等を懐かしく思い出すことができ、また、そのことで学校の中を絶えず流れゆく季節をも感じることができました。この「桜が岡」は、言わば瓊浦高校の「歳時記」のような存在になっているのだと感じました。ちなみに、これまでの「桜が岡」は創刊号から全て瓊浦高校のホームページに掲載されておりますので、興味がある方は是非ご一読ください。今後も「桜が岡」が未来へと繋がれ、瓊浦高校の様子や、そこで活躍する生徒たちの姿を後世に伝える貴重な資料になっていくものと確信しています。



※「桜が岡」創刊号。体育祭はブロックTシャツではなく、体操服に色別ゼッケンだったことが分かる。

2020年も終わりを迎えようとしています。今年はコロナ禍の中、様々なことに制限がかけられ、生徒達は本当に色々なことで我慢を強いられてきました。しかし、生徒達はその中で精一杯の頑張りをを見せてくれました。様々な行事や部活動での活躍、進路目標達成のため頑張る姿、改めて生徒達の底力を感じることができた1年であったと思っています。来年こそは、現在の状況が改善され、いつも通りの学校生活と生徒たちがますます活躍できる機会を設けることができるようになることを願ってやみません。

人権教育

12月1日(火)に、人権教育が行われました。1年生はLGBT、2年生はいじめ問題、3年生はデートDVについて、それぞれ啓発DVDを中心として学習しました。どれも、これからの社会で知っておかなければならないものです。DVD上映後は教室に戻って感想文を記入しましたが、それを見るにつけても、深い学びができたように思われます。感想文を書いたから学習終了というわけではなく、それが実践の始まりにほかなりません。いくら学校の成績が良くても、他者を尊重できなくては立派な人間とは言えません。家族を、クラスメイトを、地域の方々の思いやることのできる瓊浦生になっていくことを願っています。



<感想文>

1年生：LGBT

LGBTの方達がもっと堂々と生きていけるような社会をつくっていくべきだと思った。LGBTだからという理由で差別するのはおかしい。実際、集会中에서도、ビデオで同性愛者の場面になると、クスクス笑っているような雰囲気があり、少し嫌に思った。LGBTを題材としたドラマなども増えているので、理解を深めるためにも見て欲しい。男性だから、女性だからという固定観念が薄れていってもらえればより良い社会になると思う。

2年生：いじめ

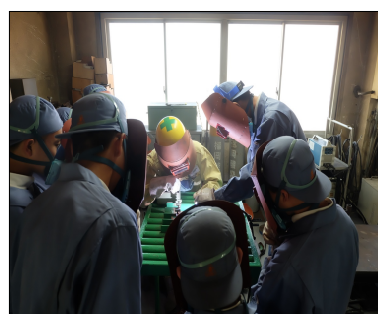
今、SNSを開いたら、ウソでも「死にたい」という単語が飛び交っている。生きたくても生きられない人、本当に限界が来ている人にも失礼だと思う。いじめについて考えた時、まずもっていじめという単語があるのがダメなのだと思う。いつ自分がいじめられるのか分からない時代になった。親や先生、友達など頼れる人を作ることが大切だ。いじめは絶対にしてはいけないことであり、あってはならないことだと改めて感じた。

3年生：デートDV

精神的な暴力は、相手を尊重する気持ちがない人間が行うことだと思います。自分が中心となって世界が回っている、そのような印象を持ちました。ビデオの中で「自分のことが好きだから、尽くしてくれるのは当たり前」という言葉がありました。「この人は私がいないとダメなんだ」と思わせるような心の支配は、最悪な結果として暴力などに発展するのだと思います。これからの人付き合いにおいては、同等な立場で相手と関わるようにしていきたいです。

溶接デモンストレーション

12月8日（火）に、溶接デモンストレーションが行われました。これは、長崎の工業系の学校を対象とした行事です。三菱パワー株式会社よりご来校いただき、高度な溶接技術を披露していただきました。参加した機械科の2年生はその様子を見て、今後の自分の技術向上への励みにしたり、来年の進路選択へ思いを馳せたりと、いずれにせよ貴重な体験となったようです。



工場見学

12月16日（水）に2年生対象の工場見学を実施しました。今年は新型コロナウイルス感染予防対策として例年とは違った形式で行い、長崎地区からは、久保工業（株）、協和機電工業（株）、長建工業（株）、（株）丸金、佐藤鉄工所、長崎機器（株）の5社、中地区からは有田工業（株）、（株）林田金属、（株）峯陽の3社、佐世保地区からは佐世保重工業（株）、（株）大島造船所の2社の計10社を5コースに分かれて見学しました。

会社の規模の大きさや、現場の雰囲気を肌で感じ、また実際の作業を行っている様子を目の当たりにし、生徒達もいつも以上に関心を持って見学しました。この工場見学を活かして、今後の進路決定に役立てて欲しいと思います。なお、この前日には1年生を対象に、同様に工場見学を実施しています。両日ともに、充実した経験ができました。



【部活動成績】

● 男子ハンドボール部

令和2年度長崎県高等学校新人体育大会

第1回みやざき整骨院杯長崎県高等学校男女ハンドボール選手権大会 男子の部 **優勝**

● 女子ハンドボール部

令和2年度長崎県高等学校新人体育大会

第1回みやざき整骨院杯長崎県高等学校男女ハンドボール選手権大会 女子の部 **優勝**

● 水泳部

第30回長崎県高等学校冬季室内水泳競技大会

50m自由形	竹野 友貴（機2B）	第1位
100m自由形	竹野 友貴（機2B）	第2位
200m個人メドレー	川口 奏（情2B）	第2位
100m自由形	釜田 莉鈴（普2C）	第2位
200m自由形	釜田 莉鈴（普2C）	第3位

情報ビジネス科 インターンシップ

12月8日（火）～12月10日（木）の間、情報ビジネス科2年生がインターンシップに行きました。事前の電話依頼から生徒自身で行い、50社以上の事業所に受け入れていただきました。慣れない業務や環境に戸惑いながらも、社会で働くことの意義をそれぞれ見出して、充実させることができました。3日間という短い間でしたが、来年の進路決定に活用できる貴重な体験ができました。



《主な行事・1月》

8日（金）	始業式		
11日（月）	成人の日		
12日（火）	第4回進路模試（2年）		19日（火） 機械科課題研究発表会
15日（金）	大学入学共通テスト出陣式（3年）		21日（木） 生徒自宅学習（推薦入試）
	1年前集会（2年）		24日（日） 全商簿記実務検定
	情報技術検定		25日（月） 3年生登校日
	卒業考査（3年、～19日）		26日（火） 生徒自宅学習（一次入試、～28日）
16日（土）	大学入学共通テスト（～17日）		29日（金） 第3回実力考査（1、2年）
	対外実力（2年、～17日）		31日（日） 全商情報処理検定